

市町村名		渡嘉敷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	渡嘉敷村観光総合推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	入域観光客数の増加を図るため、県内外で開催される観光イベント等での観光PR活動、各種広告媒体を活用した情報発信及び、増加する外国人観光客の受入体制の整備を行う。(この事業は、平成28年度の「渡嘉敷村観光客誘致促進及びPR促進事業」及び「渡嘉敷村観光受入整備対応事業」と「渡嘉敷村観光実施計画策定事業」を統合した事業である。)						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	73,734	48,829	50,901		
		(b) 予算現額	55,620	42,981	35,668		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 18,114	▲ 5,848	▲ 15,233	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-		
		A. 計(b+d)	55,620	42,981	35,668	0	0
	B. 執行済額		51,587	41,889	33,970		
	うち交付金充当額		41,269	33,511	27,176		
	次年度繰越額		0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		92.7%	97.5%	95.2%	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初、臨時職員(多言語対応)の配置を計画していたが、事業計画の見直しにより予算3,960千円を減額した。また、観光誘客受入委託業務について、事業計画の見直しにより予算11,273千円を減額した。不用額1,698千円については、委託や旅費の精算などによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	制作配布PRツール作成・配布 渡嘉敷島MAP(日本語):40,000部・(多言語版):20,000部、ガイドブック:15,000部、PP袋:20,000部、PRうちわ:10,000部、ポストカード:100,000枚	目標	(実施)	(実施)	(実施)	()	
		実績	実施	実施	実施		
	PR活動への地域事業者派遣:11人	目標	(2人派遣)	(7人派遣)	(11人派遣)	()	
		実績	2人派遣	4人派遣	4人派遣		
	広告掲載(沖縄・離島情報):20万部	目標	(20万部)	(20万部)	(20万部)	()	
		実績	20万部	20万部	20万部		
	外国語スタッフの配置:3人	目標	(2名)	(3人)	(3人)	()	
		実績	1名	1人	2人		
多言語観光案内サイン板制作:4基	目標	()	(5基)	(4基)	()		
	実績		5基	4基			
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 制作配布PRツール:PRツールについては、渡嘉敷島MAP(日本語)40,000部、渡嘉敷島MAP(多言語)15,000部、ガイドブック15,000部、PP袋20,000部、PRうちわ10,000部、ポストカード100,000枚を作成し県外イベント6件・県内イベント2件へ参加しPR活動を行った。 PR活動への地域事業者派遣:東京で開催されたマリンダイビングフェアへ地元事業者からインストラクターを含む3名を派遣し、専門的できめ細かなPR案内を行った。また、県内(国際映画祭)へ1名を派遣し、とかしき村のPR案内を行った。 広告掲載(沖縄・離島情報):「沖縄・離島情報」へ広告を掲載し、20万部を発行した。 外国語スタッフの配置:3名の配置を予定していたが、業務内容を調整し2人(11ヶ月間)配置した。 多言語観光案内サイン板制作:ビーチの利用におけるルール・マナーについて、多言語によるサイン板4基を設置し、外国人観光客への受入体制の強化を行った。 						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (H24年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)	
	・年間入域客数:132,000人	目標	(109,578)	(132,000)	()	()	()	()
		実績		144,167				
	・年間入域観光客数 136,769人以上	目標	(109,578)	()	(136,769)	()	()	()
		実績			133,138			
	・外国人観光客数 28,600人以上	目標	()	()	(28,600)	()	()	()
		実績			19,723			
	・年間入域観光客数 150,000人以上	目標	()	()	()	(150,000)	()	()
		実績				131,379		
	・外国人観光客を対象としたアンケートを実施し、利便性が確保されているか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方について検証する。	目標	()	()	()	(80%以上)	()	()
実績					未検証			
【参考指標】 年間入域観光客数 実績		目標	()	()	()	()	()	
		実績		144,167	133,138	131,379		
進捗状況説明	<p>・年間入域観光客数は、前年度から1,700人減少し、目標に届かなかった。月別比較では、令和元年4月から令和2年2月の期間は、前年度と比較して2,525人増加(2.0%増加)したが、令和2年3月は、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年同月に対して4,284人減少(46.7%)した。</p> <p>・アンケートについては、令和2年2月及び3月に、渡嘉敷港ターミナルにおいて、観光客を対象に7日間実施したが、外国人観光客から有効な回答が得られず、未検証となった。日本人観光客の回答結果は、「旅行の総合評価」に対し、「満足 71.0%」「やや満足 22.6%」と、利便性が確保されたと考えられる回答が93.6%となった。</p>							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(年間入域観光客数) ・繁忙期の入域数について、入域者の満足度から、受入可能な上限値を検討する必要がある。 ・誘客を推進するうえで、ターゲットや方向性を検討する必要がある。 (アンケート) ・アンケートの結果として、有効な回答数を得られる時期を検討する必要がある。	(年間入域観光客数) ・閑散期の観光誘客メニューを作成し、入域数の平準化を図る。 (アンケート) ・過去の入域数データを参考に、アンケートの実施スケジュールを作成する。
今後の取り組み方針		
(年間入域観光客数) ・地域事業者の意見を踏まえて、観光誘客メニューを作成し、観光誘客に取り組む。 (アンケート) ・実施スケジュールに基づくアンケートに取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	33,970	33,970	27,176	6,794	0
渡嘉敷村 33,970千円	旅費 1,185千円	職員875千円 臨時職員等310千円	県内、県外イベントPR活動にかかる旅費		
	広告料 414千円	(株)林檎プロモーション414千円	雑誌「沖縄・離島情報」への広告掲載		
	委託料 31,961千円	(株)ルーモス25,926千円 (株)琉球新報開発6,035千円	・渡嘉敷村観光誘客受委託業務 ・労働者派遣個別契約委託業務		
	使用料 410千円	(株)水中造形センター410千円	マリンダイビングフェア出展料		

資金の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の5%以内であり、ほぼ妥当な予算規模と
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、用途については検査を実施しており、目的に即し必要

市町村名		渡嘉敷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-②	渡嘉敷村美化清掃事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ			
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、村内の海浜、道路、公園などの清掃作業及び植栽を実施する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	9,680	9,680	9,680	9,790	9,886	
		(b) 予算現額	8,962	8,144	9,680	9,790	7,042	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 718	▲ 1,536	0	0	▲ 2,844	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
		A. 計(b+d)	8,962	8,144	9,680	9,790	7,042	
	B. 執行済額		8,962	7,513	8,452	7,934	5,102	
	うち交付金充当額		7,170	6,009	6,761	6,347	4,081	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	92.3%	87.3%	81.0%	72.5%	
予算の状況の説明		体調不良等を原因とした美化清掃員の欠員が生じた。賃金に3,642千円、共済費609千円、需用費に533千円の不用額が生じた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	花木植栽8箇所実施	目標	(8箇所)	(花木植栽8箇所)	(花木植栽8箇所)	(花木植栽8箇所)		
		実績	8箇所	花木植栽8箇所	花木植栽8箇所	花木植栽8箇所		
	美化清掃8箇所実施	目標	(8箇所)	(美化清掃8箇所)	(美化清掃8箇所)	(美化清掃8箇所)		
		実績	8箇所	美化清掃8箇所	美化清掃8箇所	美化清掃8箇所		
達成状況説明	観光客が利用する公共施設や展望所等8箇所(渡嘉敷港旅客待合所、港の見える丘展望台、アラン展望台、前岳林道東屋、照山園地、阿波連漁港、阿波連園地、渡嘉志久海岸公園)を対象に、公衆トイレ及び施設等の清掃作業、施設周辺の除草・植栽作業を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	観光客を対象としたアンケートを実施し、魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	(80%)	(85%)	()
			実績			87%	92%	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・公衆トイレや園地の清掃・除草作業を本年実施したことで、環境整備の行き届いた魅力的な観光地としての景観を維持することができた。 ・観光客を対象としたアンケートの結果、本事業該当8箇所において「きれいにされていた」との肯定的な答えは92%。「きたくない」との答えは0%だった。 						

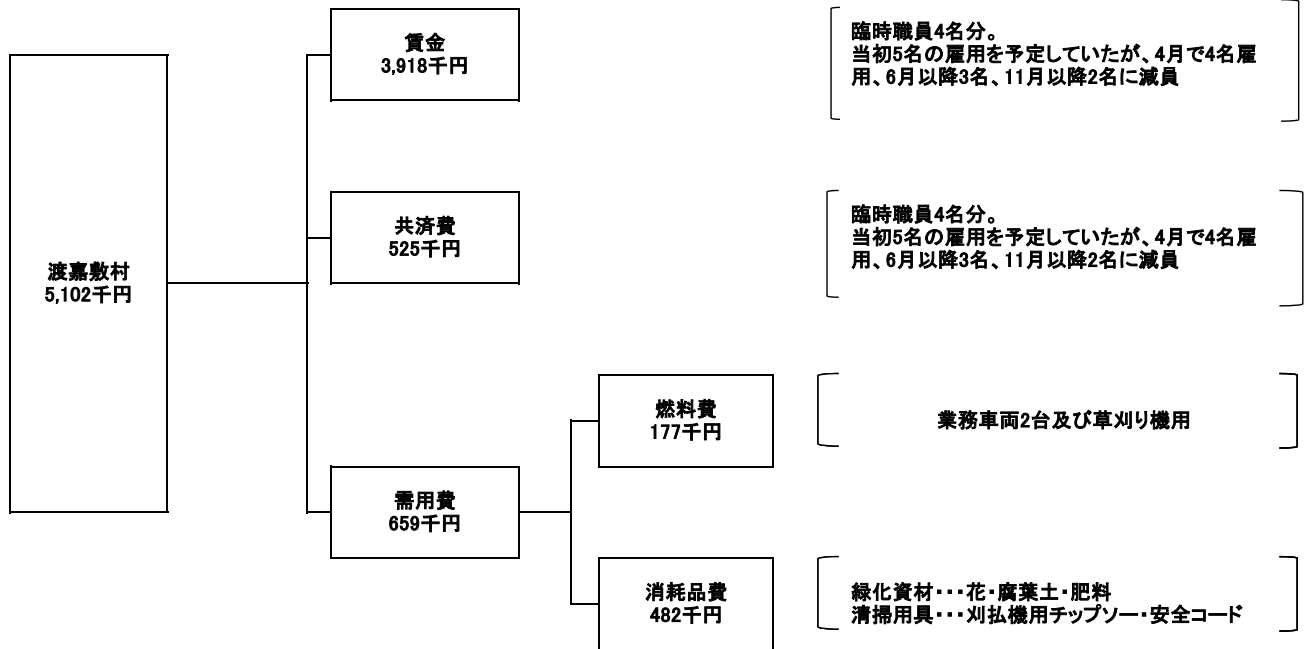
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・美化清掃班(臨時職員)の人材確保に苦慮している。清掃活動を優先し事業を行っているが、花木植栽活動を行うにあたり一部困難が生じている。	・雇用の形態を見直し、通年をとし人材の確保の必要がある。

今後の取り組み方針

・地域住民に美化清掃事業の周知を行い、人材の確保に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,102	5,102	4,081	1,021	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員は村内において公募により採用しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○天候不良等による作業時間の減少に伴う減額が発生したが、予算規模は適正だったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	渡嘉敷村景観計画策定事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	観光地として本村の豊かな景観資源の維持・保全を図るため、景観計画を策定する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)				5,400	6,156	5,500
					3,132	5,994	5,390
			0	0	▲ 2,268	▲ 162	▲ 110
			-	-	-	-	-
			0	0	3,132	5,994	5,390
	B. 執行済額				3,132	5,994	5,390
	うち交付金充当額				2,505	4,795	4,312
	次年度繰越額				0	0	0
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		事業執行の遅れはないが、台風の影響を受け宿泊費の増が生じた。パブリックコメントの追加や一部業務内容の変更があったが請負額内での変更で協議した。予算は3月補正で110千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	景観計画策定に向けた策定調査の完了	目標	()	(実施)	()	()	
		実績		実施			
	策定調査業務の実施	目標	()	()	(実施)	()	
		実績			実施		
	住民ワークショップの開催2回	目標	()	()	(2回)	()	
		実績			2回		
	瓦版の作成2回	目標	()	()	(2回)	()	
		実績			1回		
庁内会議開催の支援	目標	()	()	(実施)	()		
	実績			実施			
パブリックコメントの実施	目標	()	()	(実施)	()		
	実績			未実施			
景観計画策定の完了	目標	()	()	()	(完了)		
	実績				完了		
達成状況説明	・目標どおり、景観計画を作成し達成できた。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (R2年度)
	景観計画策定の完了	目標	()	(基礎調査 の完了)	(調査業務 の完了)	(策定業務 の完了)	()
		実績		基礎調査 の完了	調査業務の完了	策定業務の完了	
	【R2成果目標】 魅力的な観光地としての景観形成を図られ たか(80%以上)を含め、観光客や村民等 へのアンケートにより、本事業のあり方につ いて検証する。	目標	()	()	()	()	(80%)
		実績					
進 捗 状 況 説 明	・住民への説明会を実施(2地区)した。検討委員会及び策定委員会を実施。パブリックコメントの追加実施。渡嘉敷村景観計画の作成完了。						

取組 の 検 証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
		・住民説明会の実施について、事前告知により誘客を呼びかけたが台風等の影響があった。
今後の取り組み方針		
・渡嘉敷村景観計画の趣旨を理解していただき、申請業務等の手続きを実施。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
	5,390	5,390	4,312	1,078	0
<pre> graph LR A[渡嘉敷村 5,390千円] --> B[委託料 5,390千円] B --> C[株式会社 ディー・プランニング沖縄 5,390千円] </pre>					
資 金 の 流 れ の 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は仕様書通りで適正な規模だと考えている。 ○費目・用途については完了検査を実施しており、目的に則し必要なものであったと判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。			
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			

市町村名	渡嘉敷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	渡嘉敷村海域安全確保事業					
担当部課名	観光産業課	事業実施(予定)年度 令和1年～令和3年度					
事業内容	村内の2ビーチにおいて、遊泳者の水難事故防止及び安全確保を図るため水難救助員等を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度			
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		10,534				
			10,534				
			0	0	0	0	0
			-				
			10,534	0	0	0	0
		B. 執行済額	9,923				
		うち交付金充当額	7,938				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	94.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	不用額611千円については、委託の精算によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度		
	水難救助員等の配置 ・阿波連ビーチ 2名(3名) ・渡嘉志久ビーチ 2名 (7～9月 阿波連ビーチ 1名追加)	目標 (7月～10月末 常駐配置) 実績 7月1日～10月31日 配置					
達成状況説明 渡嘉敷村2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)を、(株)丸二商会のスタッフが常駐し監視を行った。 業務期間:令和1年7月1日～令和1年10月31日 監視人数:各ビーチ2名ずつ合計4名配置。夏季繁忙期(7月1日～9月30日)は阿波連ビーチへ1名増員し、5名体制で監視を行った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	・水難救助員配置期間中の水難死亡事故	目標	()	(0件)	()	()	()
		実績			1件		
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明 ・村内2ビーチ(阿波連ビーチ、渡嘉志久ビーチ)において令和1年7月1日～令和1年10月31日の間、水難救助員等を配置し、ビーチにおける事故防止と安全確保を実施した。渡嘉志久ビーチにおいて死亡事故が1件発生した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ビーチ内に遊泳監視区域を設定し、水難救助員等を配置しているが、区域外を利用する遊泳者も含め、事故防止と安全確保を実施している。遊泳者の状況によっては、十分な監視体制の確保が困難となる。</p>	<p>・ビーチにおける事故防止と安全確保は、「監視体制の確保(水難救助員等)」と「遊泳者(ビーチ利用者)による利用ルールの遵守」から可能となると考える。</p>

今後の取り組み方針

(監視体制の確保)
 ・水難救助の講習会やトレーニングにより、人材の確保・育成に努め、状況に応じた監視体制の構築を図る。

(ビーチ利用ルールの遵守)
 ・村HP掲載や、ビーチ入り口における利用ルール看板の設置により周知を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
9,923	9,923	7,938	1,985	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業は企画コンペで選定しており、妥当であると考え
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の精算によるものであり、ほぼ妥当な予算規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については検査を実施しており、目的に即し必要
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用、用途については検査を実施しており、目的に即し必要

市町村名		渡嘉敷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	3章-3-(11)-ア	
担当部課名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和3年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	交通・生活コストの低減 Ⅲ-9	
事業内容	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者に対し運賃を半額補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	予算の 状況	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		(a) 当初予算額	1,486	3,056	3,056	4,170	
	(b) 予算現額	3,215	4,066	4,564	5,456		
	(c) 増減額(b-a)	1,729	1,010	1,508	1,286		
	(d) 繰越額	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	3,215	4,066	4,564	5,457		
	B. 執行済額	3,215	4,066	4,564	5,457		
	うち交付金充当額	2,572	3,253	3,651	4,365		
	次年度繰越額	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
予算の状況の説明	平成29年度の実績より利用予定台数の設定。この事業の認知が浸透し利用者も増えている中で、当初予算を上回り補正増額を行った。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	渡嘉敷港～那覇泊港間の車両航送利用者 に対し運賃を半額補助する。	目標	(200)	(400)	(400)	(550)	
		実績	429	483	631	745	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	全体での目標台数を大幅に上回る結果となったが、車種別で見ると、普通乗用車に関しては目標台数以下ではあったが、前年度実績より利用台数増となっている。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
	運賃補助によって沖縄本島へ移動しやすい 環境となっているか(80%以上)を含め、島 民へのアンケートにより本事業のあり方を 検証する。	目標	()	()	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			100%	99%	
	【参考指標】 自動車航送台数(H29～R1)	目標	()	(全400台)	(全400台)	(全550台)	()
		実績			全557台	全623台	全745台
進捗状況説明	平成30年度より利用者アンケートを実施し本事業についての満足度等を図ったところ、多くの住民が「満足している」と答えが得られた。						

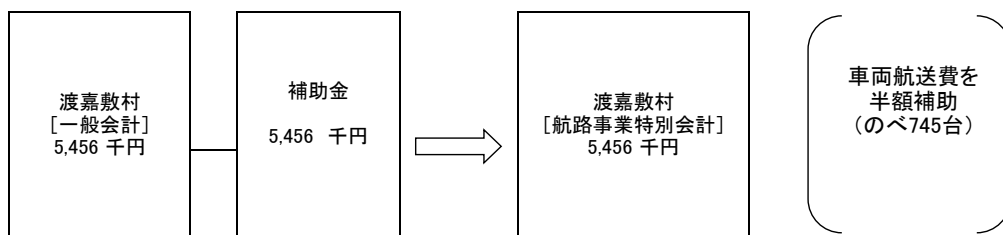
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・年々、本事業の利用者が多く予算額を上回ったため予算の補正を行う事があった。</p>	<p>・前年度の実績等を参考に、予算額の増を検討する。</p>

今後の取り組み方針

今後も、住民が沖縄本島へ移動しやすい環境を維持していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,456	5,456	4,365	1,091	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先の選定については、渡嘉敷村役場船舶課のみとなるため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、妥当と考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、貨物運賃を適正に支援しているため妥当と考えている。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	渡嘉敷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	渡嘉敷村交通コスト負担軽減事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	渡嘉敷村営定期船の欠航、または予定運行時刻に変更が生じた場合の補完的移動手段として、那覇空港～渡嘉敷ヘリポート間のヘリコプターチャーター便の利用者の運賃負担を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		3,300	3,300	3,300	3,300	3,300
			2,100	1,260	1,290	2,100	1,300
			▲ 1,200	▲ 2,040	▲ 2,010	▲ 1,200	▲ 2,000
			-	-	-	-	-
			2,100	1,260	1,290	2,100	1,300
	B. 執行済額		1,710	930	960	60	210
	うち交付金充当額		1,368	744	768	48	168
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		81.4%	73.8%	74.4%	2.9%	16.2%
予算の状況の説明		昨年度の補助対象事業者の運航自粛が今年度まで影響し、利用回数の回復に繋がらなかったと思われる。結果として、当初見込んでいたヘリコプターチャーター利用回数と大幅な乖離が生じ、1,090千円の不用が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	定期船欠航時のヘリコプターチャーター運賃の支援	目標	(110回)	(110回)	(110回)	(110回)	
		実績	31回	43回	2回	7回	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	前年同様にヘリコプターチャーター利用回数が大幅減となり目標を下回る結果となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
		目標	()	(80%)	(80%)		()
	実績			100%	100%		
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	利用者は大幅に減少しているが、アンケート調査では利便性を確保出来ているという結果が出た。						

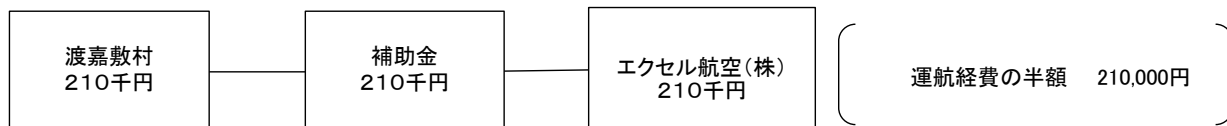
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	利用者へのアンケート調査の結果、ヘリコプターチャーター料金を半額補助することにより、住民及び観光客の交通手段の利便性の確保ができたが、今年度は利用回数が大幅に少なかった。	村民並びに観光客に対し更なる周知を行い、利用者及び運行回数の増に繋げる。

今後の取り組み方針

各交通機関への周知協力や、村ホームページ等での周知を行う。また、アンケート調査を継続し、利便性の確保の確認や当該事業のあり方を検証する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
210	210	162	48	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先については、エクセル航空(株)の1社のみが事業者として参入しているため妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、これまでの船舶欠航実績等により算出しているため妥当と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者との負担関係は、運航経費の半額を適正に補助している。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については、事業実績に基づき必要なものに限定されていると考える。

市町村名		渡嘉敷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-① 小学校学習支援員配置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(11)-イ		
担当部課名	教育委員会 教育課		事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上	
事業内容	児童の学力に応じた個々の学習指導を行う事で、学力の向上を図るため、村立小学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
		(a) 当初予算額	2,444	4,496	5,210	6,722	6,415
	(b) 予算現額	2,392	3,100	3,287	4,967	4,888	
	(c) 増減額(b-a)	▲52	▲1,396	▲1,923	▲1,755	▲1,527	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	2,392	3,100	3,287	4,967	4,888	
	B. 執行済額	2,309	2,643	2,526	4,245	3,793	
	うち交付金充当額	1,847	2,114	2,021	3,396	3,034	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	96.5%	85.3%	76.8%	85.5%	77.6%	
予算の状況の説明		学習支援員配置については、本事業と沖縄県の複式学級教育改善事業を活用して実施しているが、当初予算算定時においては、複式学級教育改善事業の補助が確定していないため、支出予定額全額を本事業にて計上している。事業決定後、複式学級教育改善事業補助額を減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	学習支援員配置 渡嘉敷小学校 2名 阿波連小学校 2名		目標 (3名)	(4名)	(4名)	(4名)	
			実績 2名	3名	3名	4名	
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	目標としている渡嘉敷小学校へ2名、阿波連小学校へ2名の人員を配置する事ができた。学習支援員の配置により、児童の学力向上や教職員の負担軽減が図れた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査において、県と本村との平均正答率+9.3ポイント以上		目標 ()	(8.6)	(8.6)	(9.3)	()
			実績	9.4	9.2	3.1	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
			目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	目標値の沖縄県学力到達度調査における県と村との全体の平均正答率の差+9.3ポイント下回る+3.1ポイントという結果となった。平成31年度の到達度調査の結果(平均正答率)は、小3国語(村66.1%、県68.1%)小3算数(村76.7%、県70.4%)、小4算数(村45.6%、県51.7%)、小5国語(村47.9%、県59.5%)、小5算数(村62.9%、県59.5%)、小5理科(村63.2%、県52.8%)小6算数(村75%、県65.4%)である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	計画人員の確保ができた。目標値には届かなかったが、県の平均正答率を上回っており、児童の学力向上が図られていると考える。	年度によって数値のバラつきはあるものの県の平均正答率を上回っているため、今後も支援員の確保に努め、学級担任との連携を図りながら個に応じた指導を充実させる。
今後の取り組み方針		
配置している学習支援員の継続意思確認を行い、当該事業を実施することで児童の学力向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,148	3,794	3,034	760	354
<pre> graph LR A[渡嘉敷村 3,794千円] --> B[賃金 3,794千円] B --> C[学習支援員 3,794千円] subgraph D [] C end subgraph E [] F[交付対象外経費 354千円] end </pre>				

資金の流 れ、費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・選定は有資格者、経験者を採用しており妥当であったと考える。 ・費目・使途については、実績に基づいており適性であったと考える。 ・有資格者の支援員の時給については、県の時給との均衡を考慮し設定しているため、予算規模は適正であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童・生徒派遣支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
事業内容	島外の人との競争や交流の機会を増やす事で児童生徒に広い視野を持たせるため、村外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会(県大会や全国大会等)に参加する児童生徒に対し、航空運賃等の補助を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	(a) 当初予算額	3,269	2,861	2,565	3,460	2,288	
	(b) 予算現額	3,269	2,861	1,397	1,807	2,110	
	(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 1,168	▲ 1,653	▲ 178	
	(d) 繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)	3,269	2,861	1,397	1,807	2,110	
	B. 執行済額	2,220	2,317	1,221	1,555	1,714	
	うち交付金充当額	1,776	1,215	977	1,243	1,370	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	67.9%	81.0%	87.4%	86.1%	81.2%	
予算の状況の説明	台風等による派遣中止があり、178千円を減額						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	阿波連小学校児童派遣 4件	目標	()	()	(4)	(4件)	
		実績			3	3件	
	渡嘉敷小学校児童派遣 3件	目標	()	()	(3)	(3件)	
		実績			3	3件	
	渡嘉敷中学校生徒派遣 13件	目標	()	()	(10)	(13件)	
実績				7	7件		
【参考指標】 派遣児童生徒(累計)	目標	(222)	(227)	()	()		
実績		185人	159人	238人	192人		
達成状況説明	荒天による船舶の欠航のため派遣を取りやめた大会があった。 離島小規模校の渡嘉敷小学校、阿波連小学校及び渡嘉敷中学校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験できない貴重な経験を積む事ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)
	児童生徒の視野が広がったかどうか(80%以上)を含め、児童生徒の保護者に対してアンケートを取り、本事業の在り方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績			98%	90%	94%
進捗状況説明	保護者へのアンケート調査において、3校の児童・生徒が、村外で実施されたスポーツ大会や文化事業発表会などの各種教育活動に参加し、小規模校では体験できない貴重な体験を積む事ができたと回答した割合は94%(30人/32人)であった。						

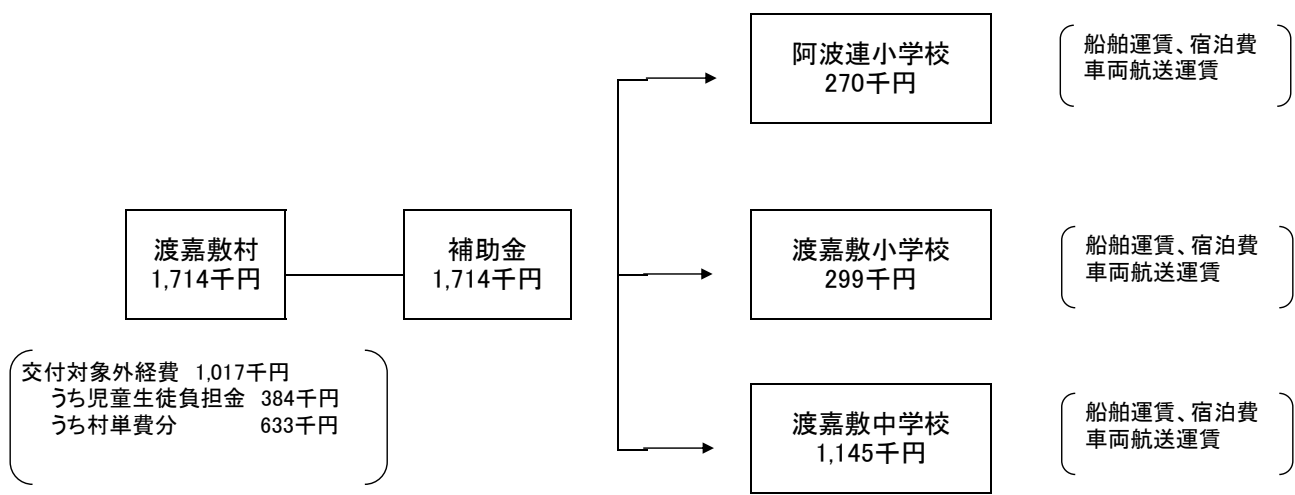
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	台風の影響により船舶欠航があり、参加できなかった大会があった。	大会に参加できなかった場合でも、児童生徒が島内ではできない経験を積めるよう、派遣内容の検討が必要である。

今後の取り組み方針

大会に参加できなかった場合でも、児童生徒が十分な経験を積めるよう、第2案で別の大会を設定し、児童生徒の競争や交流機会の確保を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,731	1,714	1,370	344	1,017



資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・各学校による補助申請に対し補助を行っているため妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は適正な規模で確保されており、台風の影響もあったものの妥当であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・渡嘉敷村立学校校外派遣事業交付規程により負担しており、妥当であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、真に必要なものか等について、額の確定時に支出等に関する書類により確認している為、適正であったと考える。

市町村名	渡嘉敷村							
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-③	家庭教育支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-(イ)		
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成28～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上			
事業内容	Web会議システムを用いたオンライン双方向授業の学習塾を実施することにより教育格差の大きい離島地域において、村外・県外と同等レベルの教育を受けることができる環境を整備する。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
		(b) 予算現額	8,660	14,638	14,635	13,402		
		(c) 増減額(b-a)	4,863	7,976	8,243	9,000		
		(d) 繰越額	▲ 3,797	▲ 6,662	▲ 6,392	▲ 4,402		
		A. 計(b+d)						
	B. 執行済額		4,863	7,976	8,243	9,000		
	うち交付金充当額		4,294	6,976	8,160	8,999		
	次年度繰越額		3,435	5,580	6,528	7,199		
	執行率(%) (B/A)		0	0	0	0		
	予算の状況の説明		実施期間の縮小及び開講クラス数・授業数の減により、4,402千円減額した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況					
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度		
	小学校5年(国語・算数)40授業 小学校6年(国語・算数)40授業 中学1年生(英語・数学)40授業 中学2年生(英語・数学)40授業 中学3年生(英語・数学・国語)60授業		目標	(364授業)	(440授業)	(302授業)	(220授業)	
			実績	234授業	321授業	296授業	240授業	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明		対象人数44名に対し34名の申込があり約8割近くの参加があった。また、毎回の参加率も良かった。中学3年生を対象に、発展授業を実施したことで目標授業数を上回った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(年度)	
	学習塾で実施される期末テストにおいて、全国と本村との平均点の差を-11.7点以内とする。		目標	()	(-8.4点以内)	(-11.7点以内)	(-11.7点以内)	()
			実績		-11.7点	-14.1点	-14.9	
			目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		全国平均点を目標に取組んでいたが、小学5年生から中学2年生までは、昨年度よりも差がひらく結果となってしまった。中学3年に関しては、大きく点数を伸ばしていることが確認され効果がみられた。						

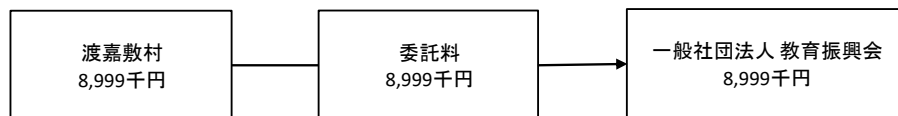
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(授業数) ・授業数については、事業執行が遅れた事と、今年度より授業日数を週1回にした事もあり目標授業数は全体的に減少しているが、参加生徒の出席率は大幅に上がった。 (全国平均との差) ・事業実施が遅れたこともあり、全国模試対策への取り組みが不足したことが、全国との差が広がった要員のひとつだと考えられる。また、本村児童生徒の模試試験の点数差が大きく平均点が伸びなかった。	(授業数) ・事業計画の見直しを行い、授業日数を増やす。 (全国平均との差) ・授業日数の確保を行い、模試試験対策の強化を検討する。 ・個々の学力に応じたカリキュラムの作成を検討する。

今後の取り組み方針

(事業数) ・事業計画を見直し、早期に塾開講を行い授業日数を確保する。 (全国平均との差) ・受託事業者との協議を行い、児童生徒の学力向上に適したカリキュラムを作成することで、全国模試試験対策に繋がられるように取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
8,999	8,999	7,199	1,800	



オンライン学習塾の運営

- ・講師の選定
- ・使用機器の選定
- ・システムの構築
- ・現場支援員の確保、指導

資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託授業者は企画提案募集で選定しており、妥当である。 ・執行率100%のため予算規模については適正な規模である。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、事業目的達成のために必要、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村						
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4	歴史文化資産保存活用事業					
担当部課名	渡嘉敷村教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度 平成29～令和元年度					
事業内容	修学旅行生や村民が学べる機会を増やすとともに、観光資源としての活用を図るため、沖縄戦史の資料を整理・作成し、平和学習等に活用する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H29年度	R1年度			
	(a) 当初予算額	8,525	6,588	8,402			
	(b) 予算現額	4,968	5,292	5,456			
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,557	▲ 1,296	▲ 2,946			
	(d) 繰越額	0	0				
	A. 計(b+d)	4,968	5,292	5,456			
	B. 執行済額	4,968	5,292	5,456			
	うち交付金充当額	3,974	4,233	4,364			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%			
予算の状況の説明	当初計画していた事業内容は全て実施した。不用額が2,794千円発生しているが、入札残によるものであり、補正減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度		
	歴史文化資産概要把握実態調査	目標	(50ヶ所)	()	()	()	
		実績	50ヶ所				
	聞き取り調査	目標	(50件)	()	()	()	
		実績	39件				
	文化財遺跡等の実施調査	目標	()	(実施)	(実施)	()	
		実績		実施	実施		
	沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査	目標	()	(実施)	(実施)	()	
		実績		実施	実施		
資料として整理・作成	目標	()	()	(実施)	()		
	実績			実施			
達成状況説明	・「文化財遺跡等の実施調査と資料の作成」、「沖縄戦に関わる史実調査資料のまとめ」、文化財遺跡のガイドマップ作成5,000部ともに実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)	基準値(年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)	
	文化財遺跡等の実施調査 完了	目標	()	(50ヶ所)	(50ヶ所)	(20ヶ所)	()
		実績		50ヶ所	50ヶ所	20ヶ所	
	沖縄戦に関わる聞き取り調査 完了	目標	()	(50件)	(50件)	(調査完了)	()
		実績		39件	14件	調査完了	
	ガイドブックの作成 完了	目標	()	()	()	(5,000部)	()
		実績				5,000部	
	【R2成果目標】 ①資料を活用し、平和学習会を実施した修学旅行学校数 3校 ②資料を活用した学習会への参加人数50名	目標	()	()	()	()	(3校 50名)
		実績					
	進捗状況説明	平成29年度から実施していた、文化財・遺跡等の概要把握の調査ヶ所が全120ヶ所。沖縄戦に関わる史実等の聞き取り調査が完了し沖縄戦の史実の資料が完成した。文化財・文化資源ガイドブックを5,000部作成した。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(歴史文化資産概要把握実態調査) ・全ての歴史文化資産をガイドマップに掲載することが出来ず、専門部会で23ヶ所の掲載を決定した。	(歴史文化資産概要把握実態調査) ・ガイドマップに掲載できなかった歴史文化遺産については、カルテデータを保管し、常に公開できる様な体制を検討する。
	(史実の聞き取り調査) 当時と現在では、地形も変わってしまい体験者の話す避難経路が詳細には掴めていない部分がある。	(史実の聞き取り調査) 今後も、新たな証言や避難経路等について情報提供があった際には、それを取り入れて記録の更新を行なうことを検討する。

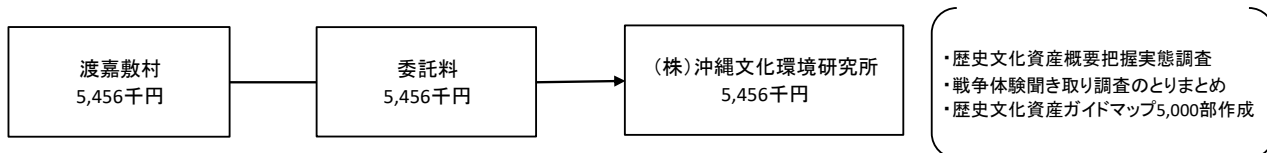
今後の取り組み方針

(歴史文化資産概要把握実態調査)
資料を活用した学習会等を実施することで、知識を深めてもらうとともに、観光客等にも参加してもらうことで新たな観光資源として活用する。

(史実の聞き取り調査)
村民や一般参加者を対象とした平和学習や、本村を訪れる修学旅行生への平和学習での資料として活用する。
また、今後、本村の沖縄戦の語り部を担う方への使用提供を積極的におこなう。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,456	5,456	4,365	1,091	



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託授業者は指名競争入札で選定しており、妥当である。 ・予算内で事業遂行できたので、適正な規模であったと考えている。 ・費目、用途については精算段階で検査を行っており、目的にせ 即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	渡嘉敷村					
令和元年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	5-①	渡嘉敷村総合防災体制構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-(イ)
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度		沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)
事業内容	災害時において村民及び観光客等の安全性を確保するため、「地震・津波災害避難計画」「土砂災害避難計画」及び「各種対応マニュアル」を策定するとともに本村ホームページで公開している防災情報ポータルサイトの情報の精査を行う。					
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度)					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()					
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a)当初予算額	H29年度	H30年度	R1年度	
		(b)予算現額	25,941	11,329	11,869	
		(c)増減額(b-a)	25,552	22,517	11,440	
		(d)繰越額	▲ 389	11,188	▲ 429	
		A. 計(b+d)	-	-	-	
	B. 執行済額		25,552	21,556	11,440	
	うち交付金充当額		20,442	17,245	9,152	
	次年度繰越額		0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	95.7%	100.0%	
	予算の状況の説明		当初計画していた「渡嘉敷村地域防災計画」「業務継続計画」の策定業務を実施した。減額については入札執行残額である。			
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況			
			H30年度	R1年度		
	地震・津波災害避難計画の策定(避難指示の基準・地域の避難計画、避難所の整理)	目標	(策定)	()	()	()
		実績	策定			
	土砂災害避難計画(発令準備・対象地域、避難所の整理)	目標	(策定)	()	()	()
		実績	策定			
	各種対応マニュアル等の策定	目標	(策定)	()	()	()
		実績	策定			
	地域防災計画の更新	目標	()	(更新)	()	()
		実績		更新		
業務継続計画の策定	目標	()	(策定)	()	()	
	実績		策定			
達成状況説明	・「渡嘉敷村地域防災計画」の更新及び「業務継続計画」の策定について計画どおり完了した。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	目標値(R2年度)
	地震・津波災害避難計画の策定	目標	()	(策定完了)	()	()
		実績		策定完了		
	土砂災害避難計画の策定	目標	()	(策定完了)	()	()
		実績		策定完了		
	防災情報ポータルサイトへ関連情報の公開	目標	()	(公開完了)	()	()
		実績		公開完了		
	各種対応マニュアル等の策定	目標	()	(策定完了)	()	()
		実績		策定完了		
	地域防災計画の更新完了	目標	()	()	(更新完了)	()
実績				更新完了		

成果目標 (指標) 及び進捗状況	業務継続計画の策定完了	目標	()	()	(策定完了)	()	()
		実績	策定完了				
	【R2成果目標】 観光客等が参加する避難訓練時において、津波・土砂災害避難計画や公開された防災情報を活用することで、安全性が確保されたか（80%以上）を含め、当該事業のあり方をアンケートで検証する。	目標	()	()	()	()	(80%以上)
		実績					
進捗状況説明	・「渡嘉敷村地域防災計画」の更新及び「業務継続計画」の策定について計画どおり完了した。						

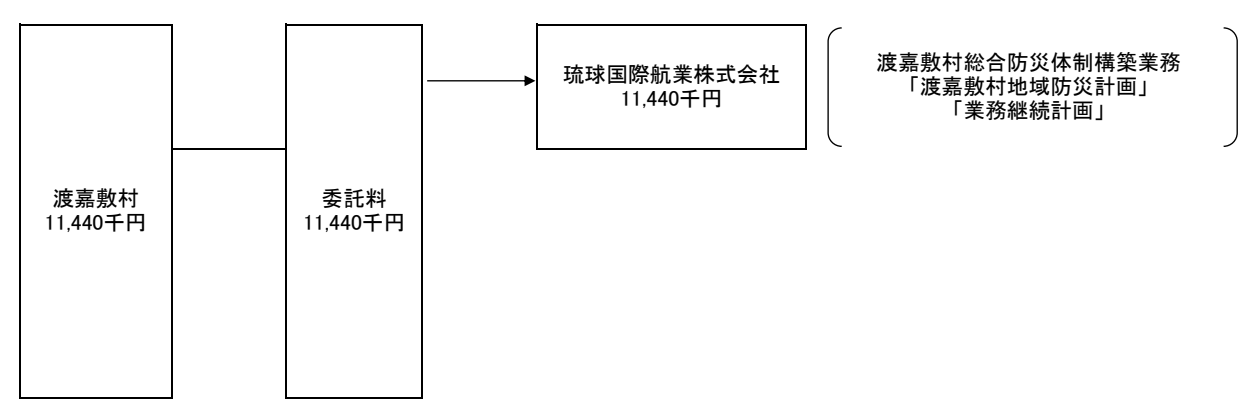
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・「渡嘉敷村地域防災計画」の更新、「業務継続計画」を策定し、村における総合的な防災力を強化したことで、住民及び観光客の災害時の安全性の確保が図られた。	・実際に災害が発生した際に住民・観光客等が、安全に避難行動がとれるよう日頃から防災に対する意識向上を図る。

今後の取り組み方針

- ・平常時の情報収集を、災害時の意思決定や行動に活かせるように、避難場所や避難ルート、危険箇所等の情報を、ポータルサイト活用方法と併せて情報発信を強化する。
- ・住民等に防災情報ポータルを認知してもらい、活用方法を習得してもらうため、当該サイトを活用した避難訓練の実施を検討する。また、ポータルサイトの充実を図るため、引き続き防災関連情報の追加・更新を進める。
- ・「渡嘉敷村地域防災計画」を自治会長や関係団体長に配布し、情報共有することで、平時からの村の防災力強化につなげていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
11,440	11,440	9,152	2,288	0



資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は仕様書通りで適正な規模だと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	